

## 活動の内省と目的設定#9

名前：ヘザー・オコネル      学校名：キング小学校      グループ名：キングズ  
活動日：2016年11月16日（水）      活動時間：30分

今回は最後のミニレッスンでした。レッスンは教室で行われて、動物の名前（犬、猫、ライオン、ネズミ、カエル）と鳴き声（ワンワン、ニャ、ガオ、チュートゥー、ゲロゲロ）を教えました。レッスンの前に、黒板に動物の絵を描いて、絵の隣に吹き出しの中に鳴き声と書きました。言葉を教えた後で言葉を消して、動物の絵に指をさしながら、子供に鳴き声を聞きました。そして、小さいグループに分けて、言葉合わせのゲームをしました。今回、カードの種類が3つありました。英語で書いた動物の名前と、日本語で書いた動物の名前のカードと、日本で書いた動物の鳴き声でした。ゲームを始める前に、机の上にカードを3つの列に置きました。1つ目の列は英語で、2つ目は動物の名前で、3つ目は動物の鳴き声でした。ゲームの狙いは、2つの種類のカードを正しく合わせることです。例えば、「猫」と「cat」か「ニャ」というカードを合わせたら、ポイントをもらいます。ゲームの終わりに、残っているカードは皆に渡しました。

うまくいったことはゲームでした。子供達は新しい言葉をすぐ学べて、ゲームのルールに従ったので、ゲームがスムーズに行きました。ルールに従うことは「Service and Social Responsibility」というアウトカムにつながると思います。なぜなら、ルールや法律に従うのは教室以外にもとても大切なスキルだからです。問題は時間が少なかったです。動物の鳴き声は面白いトピックなので、たくさんアクティビティーをしたかったのですが、出来ませんでした。また機会があれば、体を動かすゲームや動物の面を切るゲームをしたいです。